いきものふれあいの里 陶史の森だより

土岐市ネイチャーセンター
☎㊾5144

日本古来種
－ アキノキリンソウ（アワダチソウ） －

アキノキリンソウは、山地や丘陵部の日当たりのよい場所に生育し、陶史の森にも生育しています。かつては、里山に囲まれた水田の周辺、ため池の土手などにごく普通にみられた秋草の代表であり、リンドウなどとともに小学校の教科書や絵本で紹介されていました。若葉は食用可であり、水にさらしたあと、和え物やおひたしにできます。また、陰干しにしたものは、薬用にもなります。

「アキノキリンソウ」の名前の由来は、秋に咲き、ベンケイソウ科の「キリンソウ」に似た花を咲かせることにあります。花がぎっしりと集まって咲く姿が酒を醸した時の泡立ちに似ていることから「アワダチソウ」の別名もあります。

名前がよく似ている「セイタカアワダチソウ」は帰化植物で、日本中にはびこっています。アキノキリンソウとセイタカアワダチソウは同じキク科で近縁種です。近年はセイタカアワダチソウに取って代わられ、アキノキリンソウはあまり知られず、山裾にひっそりと咲いています。花はやがて綿毛となり、種子を飛散させ、なんとか子孫を残そうとしていますが、セイタカアワダチソウの勢いには勝てない状況です。

「日本タンポポ」が、帰化植物の「セイヨウタンポポ」によりかなり減少しているのと同様のことがアキノキリンソウにも起こっているようです。なんとか、日本古来種を絶やさないようにしていきたいものです。



アキノキリンソウの群生



アキノキリンソウの花

森の日記

陶史の森まつり　昆虫教室
9月3日（土）

教室のご案内

9月3日（土）に「陶史の森まつり」が3年ぶりに開催され、丸太切り、木工教室、毛糸紡ぎなどの体験コーナーや、五平餅や地元野菜を使ったみそ汁などの販売が行われました。ネイチャーセンター前の芝生広場で開かれた昆虫教室では、講師の先生から野山へ出掛けるときの注意や昆虫についての説明があり、その後、実際に森に出掛けて昆虫を観察しました。バッタ、チョウ、トンボ、カマキリなどたくさんの昆虫に出会いました。





10月

●**バードウオッチング（要申込　定員10人）**
10月23日（日）午前9時～11時
秋の野鳥を観察します。※雨天中止

11月

●**葉っぱのしおりづくり（要申込　定員20人）**
11月5日（土）午前9時～11時
色づいた葉っぱを採集し、しおりにします。

●**バードウオッチング（要申込　定員10人）**
11月27日（日）午前9時～11時
晩秋の野鳥を観察します。（雨天中止）

※新型コロナウイルスの感染状況により中止になる場合があります。

陶史の森は自然環境保護地域です。動植物や石などは絶対に採らないでください。また、ペットの同伴はご遠慮ください。